

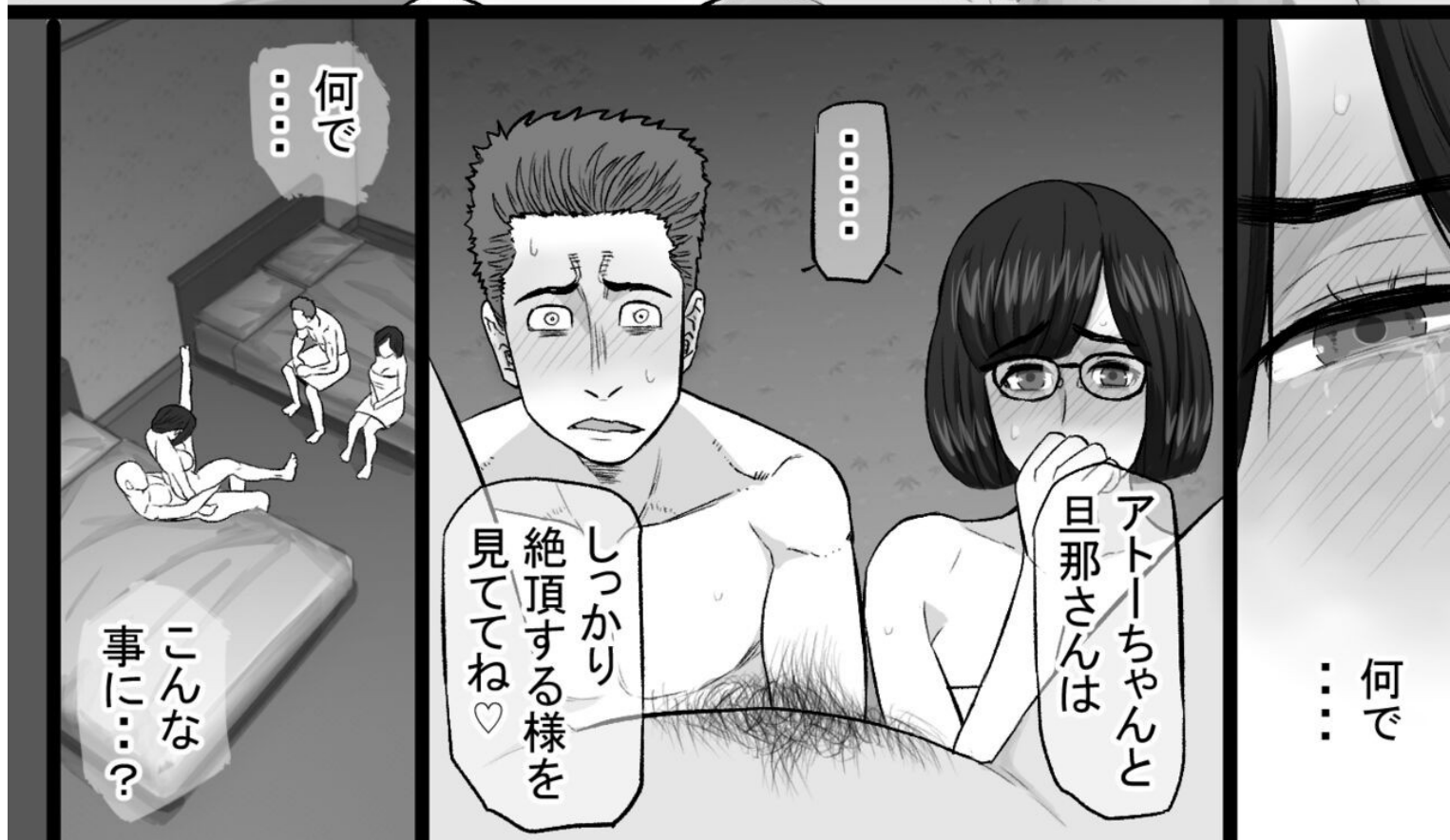




ホッラw
ケーコちゃんの
濡れ濡れマンコ
御開帳w

はぁ

い...や...



何で
...

アトーちゃんと
旦那さんは

じっくり
絶頂する様を
見ててね♡

何で
...

こんな
事に...?

私の名前は
清水 恵子(32)

スーパーの
パートに勤しむ
平凡な主婦である

その商品を
あと3つ出して
もらえる？

じゃあ
ウミちゃん

はい

その日の私は
気分が良かった

何故ならつい先日
32の誕生日を迎え

愛する夫と一緒に
高級レストランで
祝ってもらった
からである

そして一緒に
品出しをしている

何故か最初から
彼女から気に入られた
私は仕事の教育係になる

阿藤 羽海ちゃん(18)
(あとう うみ)は
先月パートに入った
ばかりの女子大生だ

一回り以上
歳は離れてはいたが
彼女とは波長があったので
私達の関係は親密になり
私はこの時間が仕事の中で
一番心が安らいだ

あ

ケコちゃん♡

そんな
平穏な時間も

ある人物のせいで
台無しになる

!?

カッ

へ……♡

元気してる？w



それはこの店の店長
小峠 伝介(59)の
せいである

て……

店長……!?

やめて
下さい……!

オロオロ



彼はこんな風に
女性従業員に
セクハラし

この店の
女性従業員
全員に嫌われて
いたのだった

おい！
クソジジイ！！

う！？

ヤッ……



しかし
そんな店長にも
唯一恐れる存在
があった

この
クソカスがあ...

テメーのセクハラの
せいでパートが
やめっから

こんな人手不足に
なるんだろぅがあ

せ
キ

せ
キ..

それがこの女性正社員
三橋 マリア(32)さんの
存在である

ホ
キ..

ホ
キ..

いや...
マリアちゃん

これはセクハラ
じゃなくて
スキンシツ...

ズ
カ
ン

いー!?

せ
の..

ホ
ロ

テメーの顔面も
こんな風にグチャグチャに
してやるーか?!

お!?

ひいつ...!?

若い頃
元ヤンキーとの
噂の彼女は

あ

ボクそういえば
仕事の途中だった♡

じゃあ
失礼するね♡

そこら辺の強面の
男性にも負けない程
凄みを持っており

この英雄ジイが!

チッ

流石の店長も
ビビって引き下がる
他なかった



あとで店長には
きつく言っておくから

こちらこそ
ありがとう
ございました

あ：
いえ

ケーコさんも
アトーちゃんも
ゴメンね！



怒ると怖い彼女も
普段はどの従業員にも
優しかった

じゃ2人とも
あとはよろしくね

はい

あとここ
やめないでね♡

また私と同年なのに
中学生の息子さんが
いるらしく

私より彼女は全然
しっかりとしていた



こうして三橋さんが
来てから半年

店長のセクハラは
かなり減っていた

表向きには

.....

数時間後——

...

パートが終わった後

私は店から
少し離れた場所で
ある人物を待っていた

その人物とは

キィ

ウィ〜ニ。

ケーコちゃん
お待たせ♡

待った？w

この心底毛嫌いしてる
ハズの店長とだった

愛する夫では
決して得られぬ
セックステクニクの
快楽に嵌まり

私は店長との
肉体関係をズルズルと
続けていたのだった

い...いえ...

そ♡
じゃ早く
後ろに乗ってね

その日私はもう二組の
男女を交えて4人で
セックスすることになっていた

!?

しかし
そのもう一人の
女性というのが

.....

羽海ちゃん
というの
は全く知らされて
いなかった

移動の車中から
羽海ちゃんは無言で
顔を真っ赤にしたまま
うつむいており

ここまで
ずっと気まずい
沈黙が続いていた

が
チャ。。

そしてそれから
更にショッキングな
事が起こる

内気な彼女が何故
こんな場所にいるのか

同様に内気な私が
問いただせる
ハズもなく
ただ動揺する
ばかりであった

!?

ぜん。それは

何と
愛する夫が

この悪夢のような
出来事に
パニックになってしまい

ごめんなさい！

この場に
現れた事
である

が――

ツ……！？
修くん！？

何故か夫は
私をその場に
引き留めた

私は思わず
その場から
逃げ出そうと
してしまう

その後——

話し合う事になった

私達夫婦は
別室に移動し

うう……

1ミリも申し訳開きが
できないこの状況で私は

死にたい……

夫への罪悪感と
100%離婚を
切り出されるであろう事に
ただただ絶望していた

だが夫は——

ケーちゃん
……



え?!

ぜん

ケーちゃん
ゴメン!!!

何故か不倫をした
私に謝った



こんな状況に
なったのは...

...全部...
全部俺の
責任なんだ...

俺がケーちゃんを
ちゃんと満足
させてやれない
ばかりに...

これは本当に
全部私の...

ここまで来て全く
私を責めない
彼の優しさに
罪悪感で胸が
張り裂けそうになった

ち...違うの
修くん...

それから――

...

...

2人の間には重苦しい
沈黙が続いた

...

2人とも
遅いね

そして――

ケーちゃん...

一つ...
お願いがあるんだ...

先に口を開いたのは
夫だった

あの人と...

俺の目の前で
...

セックスして
くれないか...?

え！？

しゅ……
修くん……
それって
どういう……！？

夫の余りにも
衝撃的な提案に
私の頭は
パニックになる

ケーちゃん
ゴメン……！

自分でも
クソみてーな事
言ってるのは
重々分かってる！

修くん……！？

でもどうしても
ケーちゃんの
乱れる姿が
見たいんだ！

そして彼が土下座まで
して懇願したその要望に
私は従う他なかった

……

こうして私達夫婦と
羽海ちゃんそして店長との

スワップセックスが
始まってしまっただった

じゃ
早速始めよーか♡

ケーコちゃん
タオル取って
ボクの膝の上
に乗ってね♡

この時
夫の方を
一瞬チラリと
見ると

悲痛な表情で

.....

私の一挙手一投足を
見守っていた

それを見た私は

この場にいる事を
心底後悔した

そして

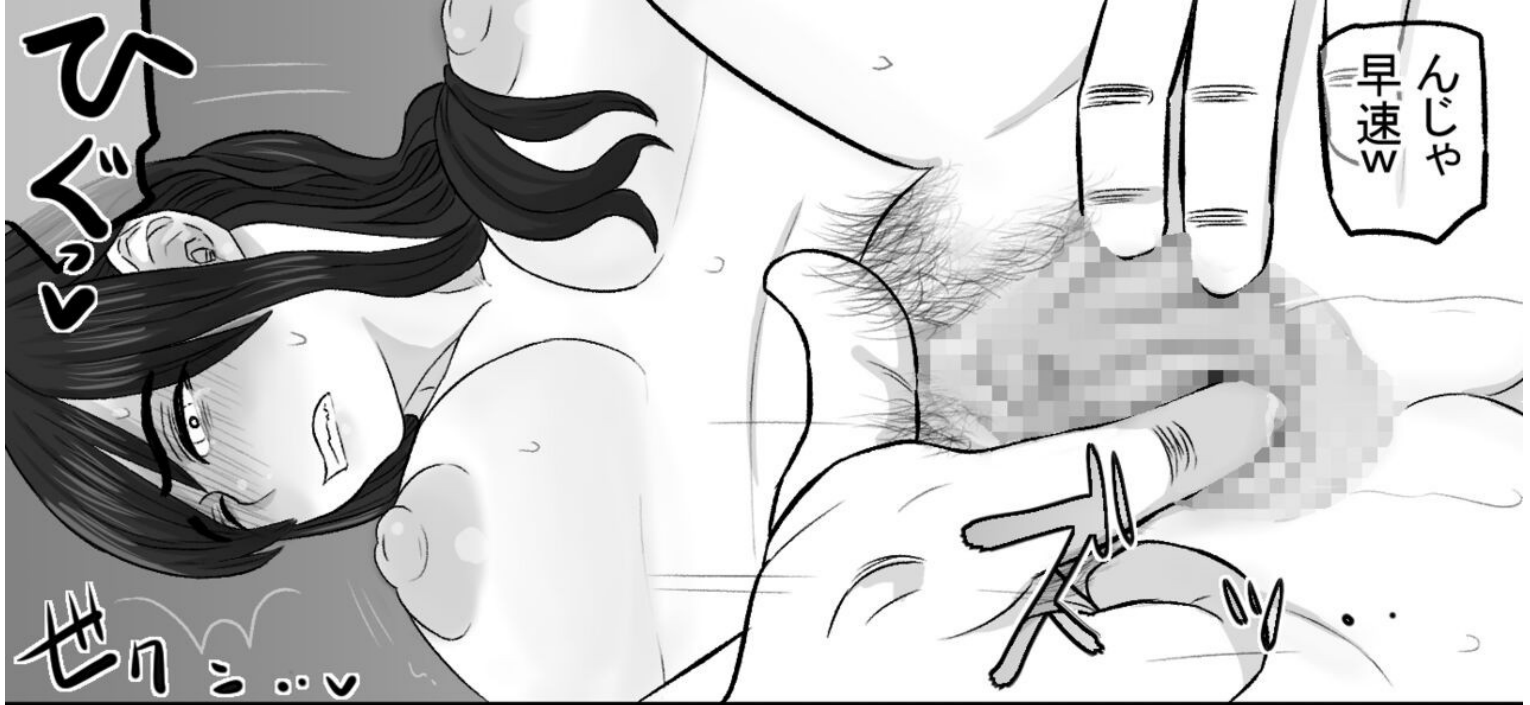
私がしゅしゅ
店長の膝に
座ると

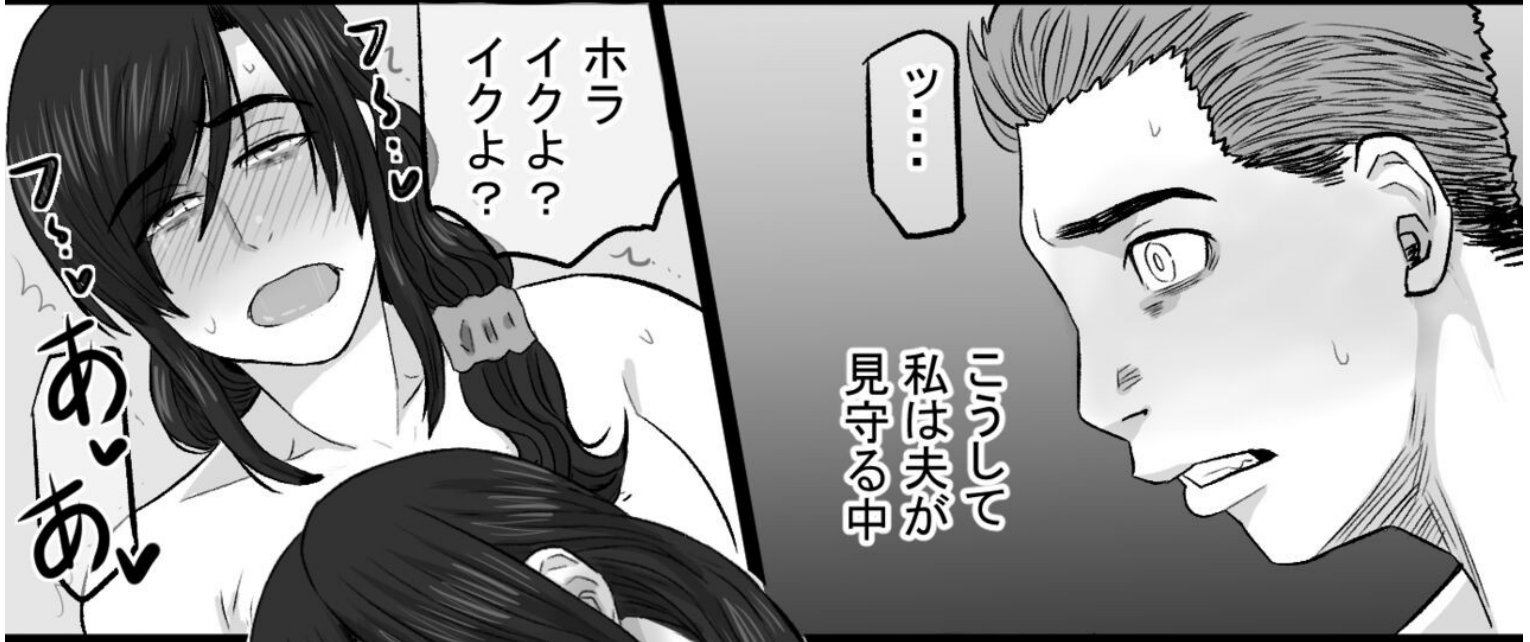
.....

フ..

フッ
ッ







そして

これでケーコちゃん
のマスコットロロに
なったね♡

いっしょ♡

なら
そろそろ――

コレ
欲しいんじゃない？w

そう言って店長は
勃起させた肉棒を
背中に押し付けてきた

ね？自分で
コレ挿入して
みてよ？♡

や……
そんな事
できな……

………！

そんな事
修クンの
目の前で

できる
ハズが
……

いっしょ♡

無い…
のに…

絶頂して
スィッチの
入った私
にとって

フ、

フ、

フ、
あ、

せ
ク、

修クン…
ゴメン…

ク、ク、

店長の肉棒の誘惑は
決して抗えるものでは
なかった

ケーちゃん
…!!

う…あ
ス…ゴ…

ズ…ズ…

あ…

挿入すると
店長は下から凶暴な肉棒で
思い切り突き上げてくる

その度に圧倒的な
快楽が押し寄せてくる
のだった



あ…♡あ♡
ダ…メ♡

何も考え
られない…♡

良い反応だねえ
ケーコちゃん♡

ちよつと
旦那さんの方
見てみw



そう言われ

ハッ……♡

朧げな意識
で夫の方を
見ると

ハッ……♡

半べそをかき
さつきより更に
悲壮な表情で

私が犯される様を
ただ凝視していた

そして彼の股間は
この位置から
認識できるほど

ハッキリ勃起
していた

それを
見た瞬間

そして――

キャッ……!!

せり。

じゃ

ハッ
オッ
ウ

私は今まで
味わったこと
の無い程の
興奮を覚えた

ラストスパート
いくよーん♡

店長のピストンは
クライマックスを
迎えた



見終
ないで、
クン

ケーちゃん…!!





こうして——

ハッ
ハッ

店長と私の
セックスは
ひと段落した

夫と羽海ちゃんが
見守る中

ドロリと店長の
濃い精子が溢れ出た

肉棒を引き抜くと
私の膣内から

クッッッ

分かってたけど
キツツイな
これ……

それを見て
シヨックで
頭を抱える夫

……
ケーちゃん

すると

ドロオ……





そうして
しばらくの
ペッティングの後

...

ほ...
本当に生で
良いの...?

ハイ...♡

夫は私を
ふと一瞥し

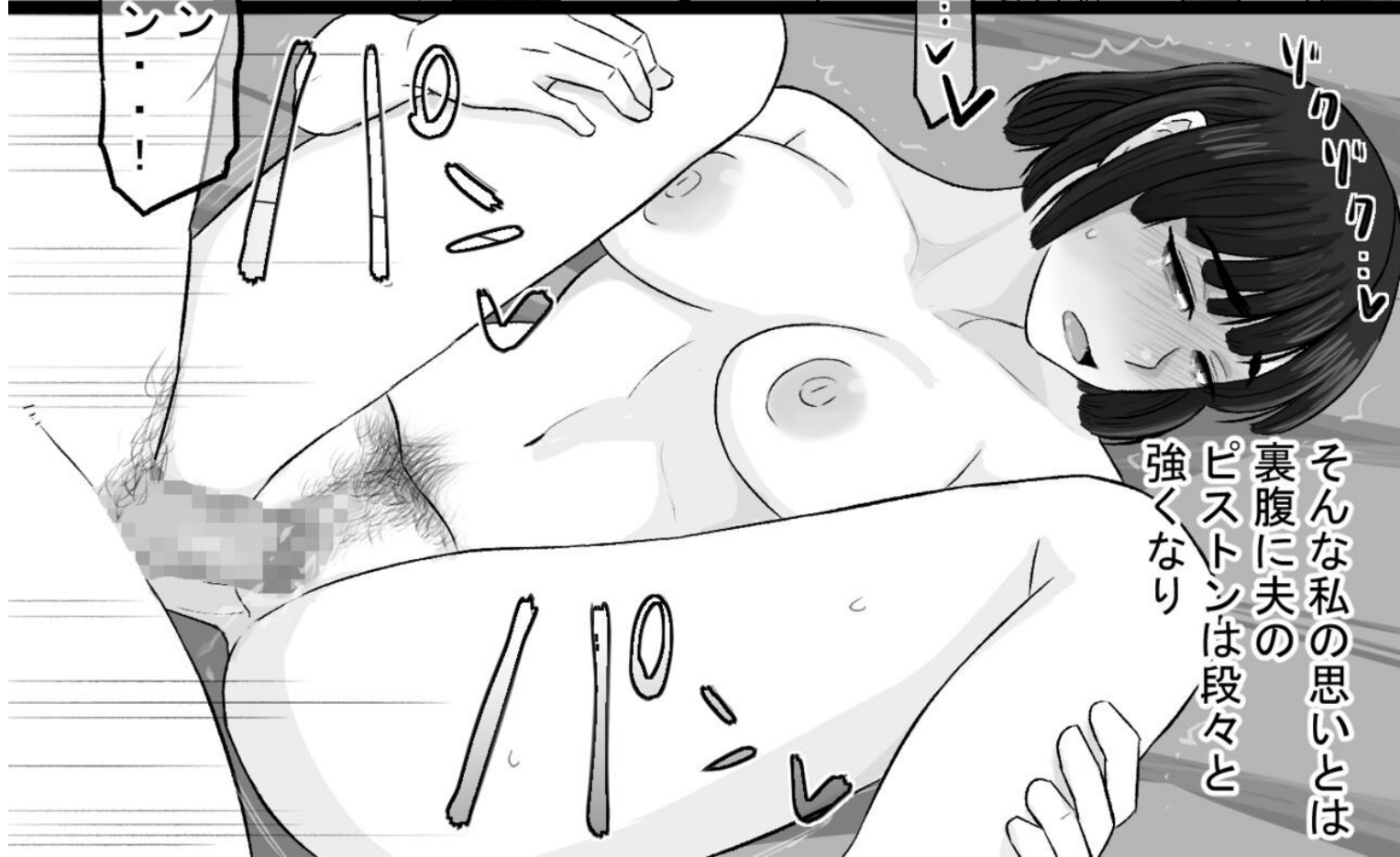
...

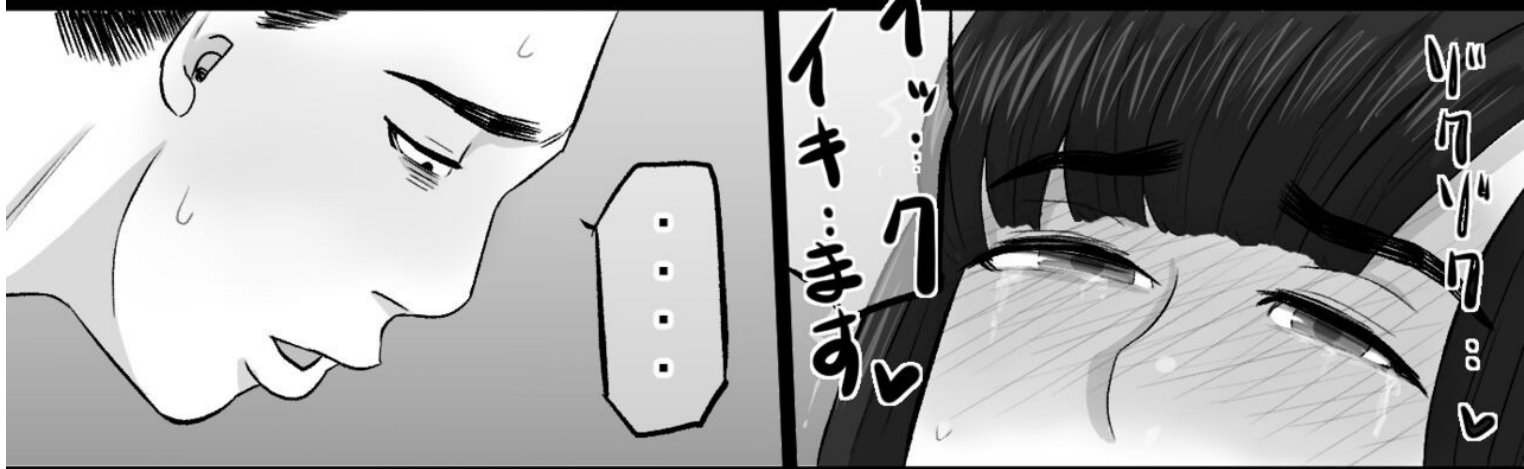
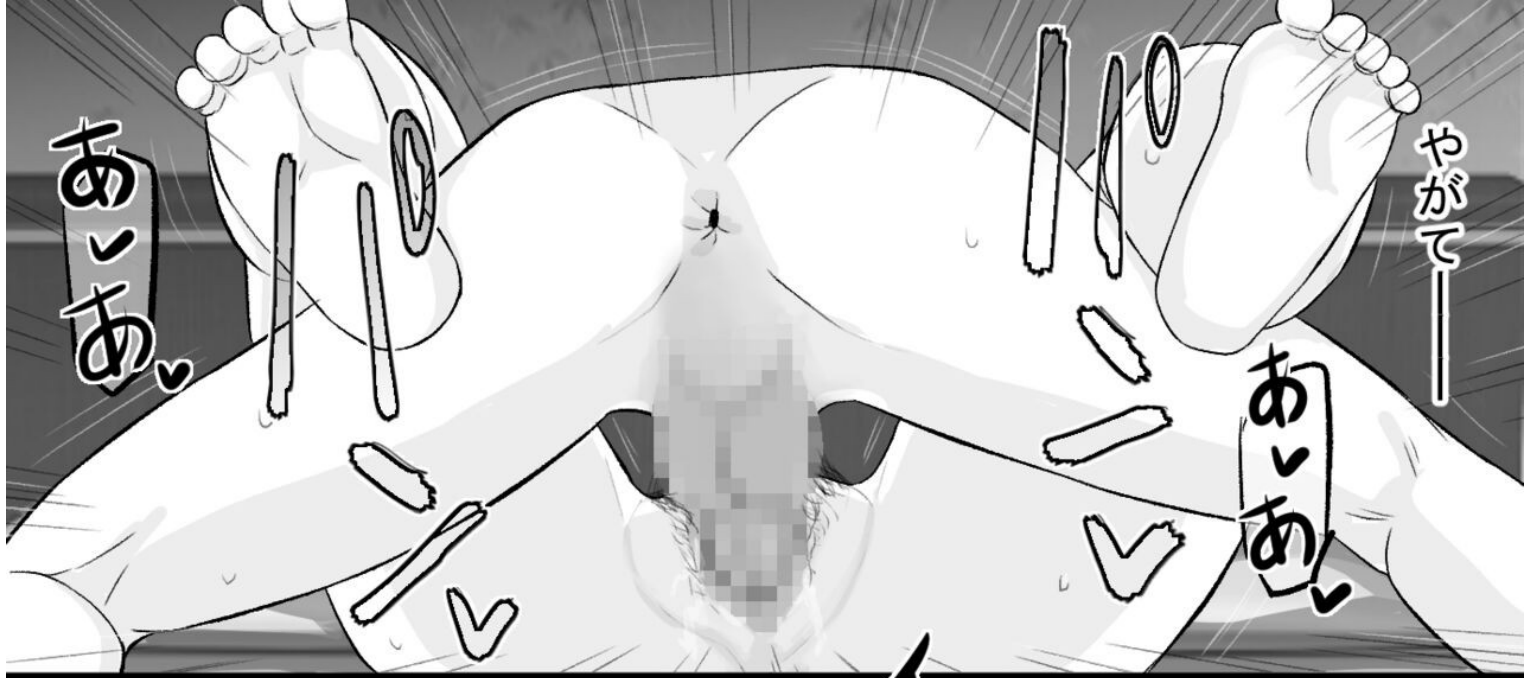
そして
私が最も
見たくなかった

イ...
...や...

夫の生本番が
始まってしまった
のだった

セクニ







それから休憩をはさみ

私達は
店長の提案で

ジュポ

並んで口で
奉仕することになった



私と羽海ちゃんは

ジュポ

それぞれの相手に
懸命に奉仕した

グッ

オ



この時この近距離で
違う相手とする事で

私達夫婦は
いつもの数倍
興奮していたと思う





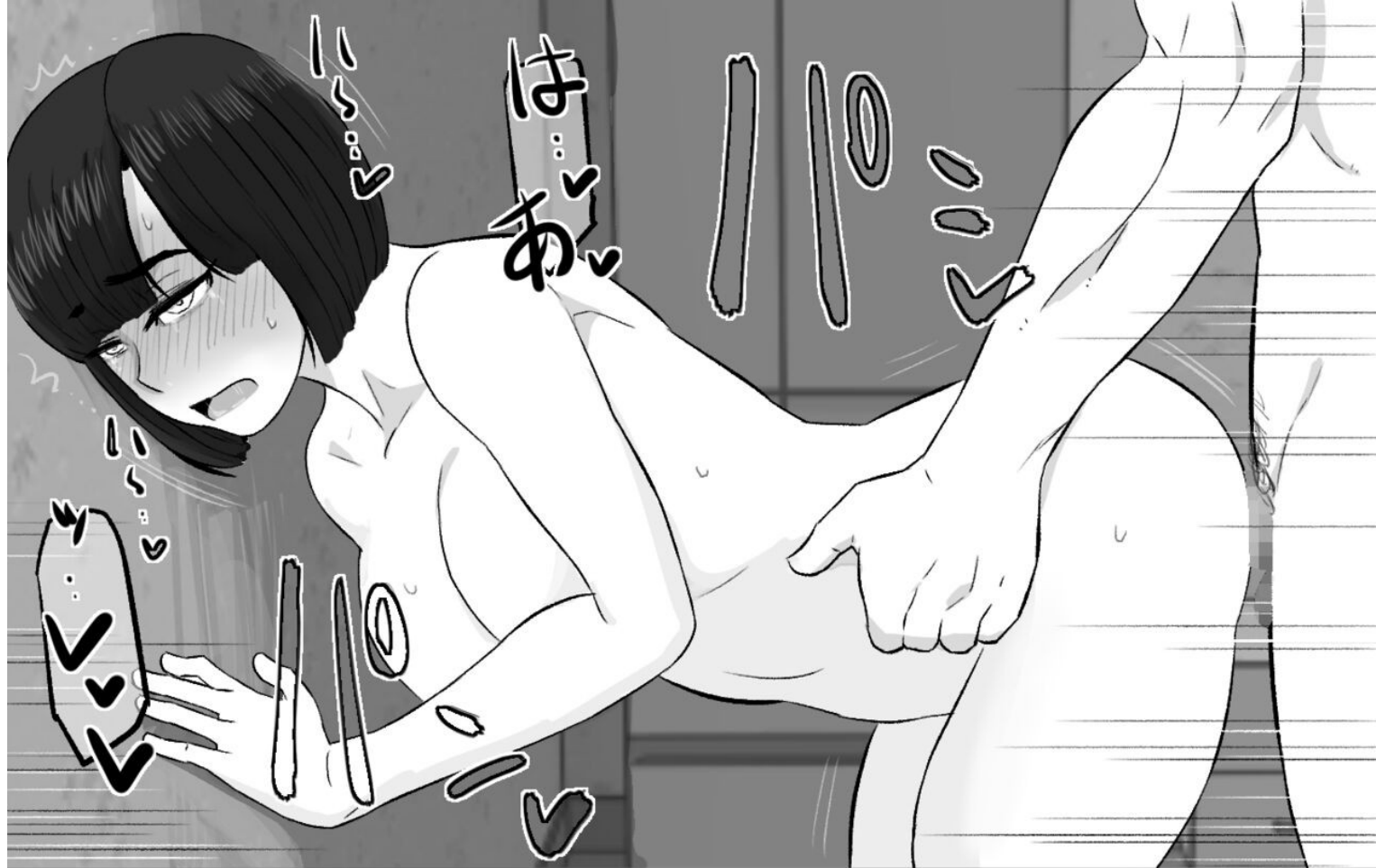
再び生本番が
始まった



夫と店長の
ピストンは最初から
激しく

私と羽海ちゃんは
快楽に身を悶えさせていた





やあ？あ

ホラホラ
ボクのチンポ
どお？w

ねえ？

答えないと
ピストン
やめちゃうよ？w

旦那さんのと
どっちが良い？

や・
そん・
な・

修クンの目の前で
そんな事っ・

言える訳

でも

ッ・







そしてそれから数時間——





時間の限り
混ざりあった

い
っ
ぱ
い

く
っ
く
っ
く

い
っ
ぱ
い

せ
く
せ

せ
く
せ

あ
っ
あ

✂

✂

✂

く

—
それじゃあ

ボク達は
先に帰るね♡

—
その結果

—て
聞いてないかw

私たち夫婦の絆は
更に深まったのだった

続